

実技模擬問題 6

【問題】

公益社団法人Hの第2期(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の実績会計データ、第1期の財務諸表の一部(貸借対照表内訳表および正味財産増減計算書内訳表、以下同様)および下記資料にもとづいて、第2期の財務諸表の一部を完成させなさい。

また、第1期と第2期の財務諸表の一部を比較して、次の各問に答えなさい。

- (1) 経常収益が増減した要因について説明しなさい。
- (2) 事業費が増減した主な要因について説明しなさい。
- (3) 第2期の当期経常外増減額の内容について説明しなさい。
- (4) 指定正味財産期末残高が増減した要因について説明しなさい。
- (5) 固定資産合計が増減した要因について説明しなさい。
- (6) 固定負債合計が増減した要因について説明しなさい。

＜資料＞

1. 当法人は、学術振興を目的として設立された公益社団法人である。期中の処理は企業向け財務会計ソフトを使用して処理しているが、財務諸表は公益法人会計基準にしたがって表計算ソフトで作成している。
2. 当法人は、公益目的事業会計と法人会計の2つの会計区分を設けており、財務会計ソフトの部門を使用して処理している。
3. 事業費や管理費の内訳科目について、財務会計ソフトでは、これらの勘定科目に補助科目を設けて処理している。
4. 会計データは、問題の便宜上、同一取引については、まとめて3月末日に入力している。なお、第2期の主な取引は次のとおりであり、すでに入力済みである。
 - (1) 本年度会費および前年度未収会費の受取り
 - (2) 国債の利息の受取り。国債は投資有価証券勘定で処理している。この国債は、設立にあたって法人の基本財産として贈与されたもので、指定正味財産として処理している。
 - (3) 研究用機械装置を取得したが、取得資金の一部として国から補助金を受け取った。補助金は、用途が指定されているため、指定正味財産とした。
 - (4) 事業費として各種関係団体に対して研究助成金を支出している。
 - (5) その他の事業費、管理費については、入力済みの会計データを参照すること。
 - (6) 什器備品のうちパソコンが壊れたので、廃棄処分とした。
 - (7) 職員の退職に備えるため、期末現在の退職金要支給額を基準にして、退職給付引当金を計上している。また、特定資産として同額を定期預金に積立てている。

- (8) 長期借入金は、設備資金として第1期に借入れたものであるが、毎月一定額を返済している。
- (9) 決算処理として、未収会費と減価償却費の計上を行っている。なお、機械装置の減価償却に伴い、受け入れた国庫補助金のうち、減価償却相当部分については、指定正味財産から一般正味財産への振替を行った。
- (10) 公益目的事業会計は現金預金を持っていないため、法人会計との間で内部債権債務が発生する。内部債権債務は、その都度処理せず、決算期にまとめて短期貸付金・短期借入金勘定で処理している。
5. 当法人は、消費税については免税事業者である。

<参考資料1. 第1期貸借対照表内訳表>

公益社団法人H

貸借対照表内訳表

第1期：平成29年3月31日現在

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部				
1. 流動資産の部				
現金預金	0	5,684,780	0	5,684,780
未収入金	0	400,000	0	400,000
短期貸付金	552,480	0	△ 552,480	0
流動資産合計	552,480	6,084,780	△ 552,480	6,084,780
2. 固定資産の部				
(1) 基本財産				
投資有価証券	18,000,000	0	0	18,000,000
基本財産計	18,000,000	0	0	18,000,000
(2) 特定資産				
退職給付引当預金	0	120,000	0	120,000
特定資産合計	0	120,000	0	120,000
(3) その他の固定資産				
建物附属設備	0	3,121,200	0	3,121,200
什器備品	0	1,875,000	0	1,875,000
差入保証金	0	3,000,000	0	3,000,000
その他の固定資産合計	0	7,996,200	0	7,996,200
固定資産合計	18,000,000	8,116,200	0	26,116,200
資産合計	18,552,480	14,200,980	△ 552,480	32,200,980
II 負債の部				
1. 流動負債				
預り金	0	16,100	0	16,100
短期借入金	0	552,480	△ 552,480	0
流動負債合計	0	568,580	△ 552,480	16,100
2. 固定負債				
長期借入金	0	12,000,000	0	12,000,000
退職給付引当金	0	120,000	0	120,000
固定負債合計	0	12,120,000	0	12,120,000
負債合計	0	12,688,580	△ 552,480	12,136,100
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
受贈投資有価証券	18,000,000	0	0	18,000,000
指定正味財産合計	18,000,000	0	0	18,000,000
(うち基本財産への充当額)	(18,000,000)	(0)	(0)	(18,000,000)
2. 一般正味財産	552,480	1,512,400	0	2,064,880
(うち特定資産への充当額)	(0)	(120,000)	(0)	(120,000)
正味財産合計	18,552,480	1,512,400	0	20,064,880
負債及び正味財産合計	18,552,480	14,200,980	△ 552,480	32,200,980

＜参考資料 2. 第 1 期正味財産増減計算書内訳表＞

公益社団法人 H

正味財産増減計算書内訳表

第 1 期：平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産受取利息	240,000	0	0	240,000
② 受取会費				
受取会費	1,170,000	7,200,000	0	8,370,000
経常収益計	1,410,000	7,200,000	0	8,610,000
(2) 経常費用				
① 事業費				
旅費交通費	223,560	0	0	223,560
会議費	149,040	0	0	149,040
印刷製本費	150,120	0	0	150,120
研究図書費	186,840	0	0	186,840
消耗品費	111,240	0	0	111,240
雑費	36,720	0	0	36,720
事業費計	857,520	0	0	857,520
② 管理費				
給料手当	0	2,138,000	0	2,138,000
法定福利費	0	347,400	0	347,400
退職給付引当金繰入額	0	120,000	0	120,000
消耗品費	0	285,120	0	285,120
地代家賃	0	933,120	0	933,120
水道光熱費	0	213,840	0	213,840
旅費交通費	0	63,720	0	63,720
通信費	0	60,480	0	60,480
会議費	0	85,320	0	85,320
新聞図書費	0	24,840	0	24,840
減価償却費	0	1,103,800	0	1,103,800
支払利息	0	272,000	0	272,000
雑費	0	39,960	0	39,960
管理費計	0	5,687,600	0	5,687,600
経常費用計	857,520	5,687,600	0	6,545,120
当期経常増減額	552,480	1,512,400	0	2,064,880
2. 経常外増減の部				
① 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
② 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	552,480	1,512,400	0	2,064,880
一般正味財産期首残高	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	552,480	1,512,400	0	2,064,880
II 指定正味財産増減の部				
① 受贈益				
受贈投資有価証券	18,000,000	0	0	18,000,000
② 一般正味財産への振替額				
一般正味財産への振替額	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	18,000,000	0	0	18,000,000
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	18,000,000	0	0	18,000,000
III 正味財産期末残高	18,552,480	1,512,400	0	20,064,880